

平成 21 年 4 月 15 日現在

研究種目：基盤研究 (C)  
研究期間：2006～2009  
課題番号：18592418  
研究課題名 (和文) 学校との連携による生徒の生活習慣病予防教育プログラムの開発  
研究課題名 (英文) Development of the life-style related disease prevention educational program of schoolchildren in collaboration with schools  
研究代表者  
藤井 千恵 (FUJII CHIE)  
愛知教育大学・教育学部・准教授  
研究者番号：70314002

研究分野：医歯薬学  
科研費の分科・細目：看護学・地域・老年看護学  
キーワード：生活習慣病、予防教育、ヘルスプロモーション

### 1. 研究計画の概要

新たな生活習慣病予防教育プログラムを開発することを目的として①血液検査の結果から自分の健康実態を認識して関心を持たせる教育に加えて、②生徒相互での血圧測定実習を通してさらに自分の健康に対する興味関心を引き出し、生活習慣病を自らの課題として捉えさせて、③健康意識の変化と健康行動の変容をもたらして適切な生活習慣の確立へと導くことおよび④その健康意識の変化と健康行動の変容について追跡調査を行って評価する研究を計画した。

### 2. 研究の進捗状況

(1)平成18年度：①児童生徒の血液検査および身体計測、日常生活習慣等質問紙調査による健康実態の基礎データの収集、②血圧・脈拍測定の授業、③生活習慣病予防に関する意識調査および授業を行った。

その結果、児童生徒の体格と空腹時インスリン、HOMA-R等との関連がみられ、小児においてもインスリン抵抗性を検討する必要があることが示唆された。また、今回の

血圧・脈拍測定実習とその実習を踏まえた生活習慣病予防に関する授業を行う生活習慣病予防教育プログラムは、自分の健康に興味・関心を持ち、自らの生活習慣を見直し、その改善策を自分自身で見出すことができることが示唆された。

(2)平成19年度：①平成18年度に実施した児童生徒の健康実態のデータと生活習慣との関連について解析検討、②平成18年度に中学校2年生であった生徒の健康意識と健康行動についての追跡調査、③運動負荷前後の血圧・脈拍測定実習をとり入れた生活習慣病予防のための授業を実践した。

その結果、小学生の肥満児は適正体重児に比べて中性脂肪がやや高値で、HDLコレステロールがやや低値であったが有意差はみられなかった。しかし、中学生では有意差が認められ、小中学生ともに肥満者では「早食い」「満腹するまで食べる」という食事摂取傾向がみられた。また、中学生に実施した安静時に加えて運動負荷後の血圧・脈拍測定実習とその実習を踏まえた生活習慣病予防に関する授業を行う生活習慣病予防教育プログラ

ムは、より自分の健康に興味・関心を持ち、自らの生活習慣を見直し、その改善策を自分自身で見出すことができることが分かった。(3)平成20年度：昨年度までの研究成果を踏まえ、生活習慣病予防教育プログラムをさらに改善し、単に生徒自身の安静時および運動後の血圧・脈拍測定からの気づきだけではなく、グループの仲間同士のディスカッションの時間を設けたり、それをクラス全体に発表して「学びを共有」した。

その結果、「自分の血圧値に興味・関心を持った」、「血圧測定の結果や生活習慣病予防の話聞いて興味・関心を持った」は、平成18・19年度に比べて高率となり、より生徒が自分自身の健康に興味・関心を持ち、自らの生活習慣を見直し、その改善策を自分自身で見出すことにつながった。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

学校(養護教諭、保健体育科教諭等)と町役場(保健師等)との連携の基で児童生徒の血液検査および身体計測、日常生活習慣等質問紙調査、血圧・脈拍測定の授業、生活習慣病予防に関する意識調査および授業を計画・実施・評価し、授業内容を改善させながら進めていることから、おおむね当初の計画に沿って健康調査、生活習慣病予防教育を遂行していると考ええる。

### 4. 今後の研究の推進方策

平成21年度は、平成18年度に小学校5年生であった児童が中学校2年生になるので、再度平成18年度と同様に追加項目を加えた血液検査等の取り組みを実施すると共に、今回の新たな生活習慣病予防教育プログラムについて、生徒の健康意識の変化と健康行動の

変容に関する追跡調査と養護教諭、保健体育科教諭、保健師の連携のあり方等を総合的に事業評価をする。さらに、これまでの研究成果について、国内外において研究報告をすると共に科学研究費補助金交付事業に関する研究報告書を作成する予定である。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 2 件)

- ① 藤井千恵、榊原久孝、血圧・脈拍測定実習を通じた生徒の生活習慣病予防教育、第55回日本学校保健学会、2008年11月15日、愛知学院大学(名古屋市)
- ② 藤井千恵、榊原久孝、児童生徒のインスリン抵抗性に関する研究、第67回日本公衆衛生学会、2008年11月6日、福岡国際会議場(福岡市)

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]